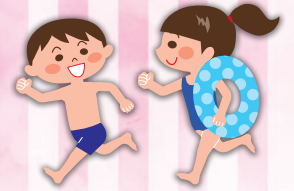




二葉とこども

第23号



発行元：社会福祉法人 二葉保育園「二葉支援の会」 発行日：2017年7月25日

改築プロジェクトから自立支援プロジェクトへ

二葉の法人(以下、二葉)は2012年より、約5年間かけて3施設(二葉学園、二葉南元保育園(法人本部を含み)、二葉むさしが丘学園)の改築を行い、2016年度で改築を無事終了することが出来ました。これもひとえに日ごろから二葉を支えて下さる多くの支援者の方々の皆様のご協力の賜物だと感謝申し上げます。

新年度(2017年度)を向かえ、「ハード面の整備からソフト面の整備へ」、「改築プロジェクトから自立援助プロジェクトへ」舵をきることにしました。二葉はこれまで117年間の児童福祉実践において、「子どもたちの輝かしい未来のために」を合言葉に取り組んできました。新たなチャレンジとして、子どもたちがすくすく育ち、社会的自立が出来るようなとりくみを進めます。

子どもは母親の胎内にいる時期(胎児期)から発育します。乳幼児期を経て、学童期(小学校)、思春期(中学校)、青年期(高校、大学)等の発達段階において成長し、社会的自立をしていくこととなります。しかし、現代社会において、さまざまな要因で子どもの成長や社会的自立がはばまれている事例がとて多く存在し

ます。

国もやっと、「子どもの貧困対策」や、「ひとり親家庭の支援」や「児童虐待対策」などの取り組みを開始したものの、それらの対策が不十分なのが現実です。

二葉はこれらの課題に取り組むべく、「自立支援プロジェクト」を立ち上げました。この計画に沿って、これまで培ったノウハウや、専門的な実践力をフルに発揮し、社会的養護を必要とする子どもたちや、保育を必要とする子どもたちが、たくましく、意欲を持って生き抜いていく力を培うために、さまざまな活動を展開してまいります。このプロジェクトは、入所児童が習い事にチャレンジするための費用や、大学や専門学校に通いさまざまな資格取得の費用を助成します。また、昨年度からスタートした自立援助ホームの運営資金充当や、児童が施設卒園した後のさまざまな支援を行います。

これまで多くの方々に支援をしていただきましたが、これからもこの趣旨をご理解いただき、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成29年7月6日 常務理事 武藤素明

「二葉支援の会」への寄付について

二葉保育園では、「二葉支援の会」が中心となって、法人内の各施設の事業や組織運営を支えている活動をしています。ご寄付は、年一口5,000円以上をお願いしておりますが、金額は問わず、一人でも多くの方にご支援を頂きたいと思っております。ご入会・ご支援頂ける方はぜひ当法人本部までご連絡ください。

★当法人へのご寄付は社会福祉事業への寄付として確定申告をして頂くと税制上の優遇措置(寄付金控除)が受けられます。詳しくは当法人本部までお問い合わせ下さい。

「二葉支援の会」
お問合わせ

社会福祉法人二葉保育園 法人本部

電話 03-3341-1205(平日10時~17時)

E-mail info@futaba-yuka.or.jp

●郵便振替

口座番号：00120-2-30321 口座名義：社会福祉法人二葉保育園

●銀行振込

三菱東京UFJ銀行 支店名：四谷支店 口座番号：普通0506208

口座名義：(福祉)二葉保育園 理事長 遠藤久江

●クレジットカード

社会福祉法人二葉保育園ホームページの「寄付のお願い」ページからお手続き頂けます。



高橋 美輝

保育士2年目0歳児担任の高橋美輝と申します。私は、生後3ヵ月から卒園まで在園していました。保育園時代では年間の行事、特にクリスマス祝会の降誕劇・キャンドルサービスが印象に残っています。また、年長のとき担任をしていていた先生の優しさやピアノを弾く姿をみて保育士に憧れを持ち、私もピアノが上手に弾ける保育士を目指そうと当時から決めていました。そして、思い出のある二葉南元保育園で憧れていた先生方と職員として一緒に働いていきたいと思い就職に至りました。

実際に働いてみて、子どもとの向き合う姿勢

や信頼関係の築き方、保育者同士や保護者とのコミュニケーションなど自分が思っていたよりも保育の難しさ、そして、大変さを感じています。しかし、どんな時もいつも子ども達の可愛い笑顔に救われています。

まだまだ分からない事が沢山ありますが、保育に大切なことや、保護者・子どもとの関わり方など先輩保育士を見て学んだり聞いたりしていながら二葉南元保育園で様々なことを学んでいきたいと思います。また、子ども達が毎日明るく楽しく思い出に残るような保育を目指し、精一杯頑張りたいと思います。



今年3年目の浦澤康仁です。私は四谷の地で生まれ生後3ヶ月の赤ちゃんから二葉南元保育園に入園し、卒園しました。

園児時代、生活の中での出来事や行事の楽しかった思い出など、覚えている事がたくさんあります。特に印象に残っている事は年長の時に行ったお泊り保育です。自然の中で遊び、野生のうさぎを見た事、鍾乳洞に入った事、夜に肝試しをした事、一緒に行った先生など鮮明に覚えています。とても楽しく疲れて夜はぐっすり眠ってしまい、その姿を撮った写真が未だに残っています。

私は、保育実習でもお世話になり、その後も数年アルバイトをさせて頂き保育の基礎を学びました。その中で子どもたちがのびのびと育っていく姿、先生方の暖かい関わり方を側で感じとることができました。そして、数年違う保育園で経験を積んだ後、二葉南元保育園の職員と



▲▶ 保育園時代の写真

して子ども達と一緒に成長していきたいと思い、平成27年に保育士として戻って来ました。

実際に職員として働くなかで大変な事もたくさんありますが、子ども達の成長に携われる事を嬉しく思っています。

今後はたくさん経験を積んでいく中で見えてくる景色もあると思います。

まずは一日一日を大切に、一步一步進んでいきたいと思っています。

浦澤 康仁





田村 渉悟



私は東京都むさしが丘学園に小6年の頃に入所しました。それから高校3年まで約6年間を施設で生活していました。高校3年生になり、現在の二葉むさしが丘学園に名所が変わりました。運営元が都から二葉に代わり、それと同時に今までいた職員が全員いなくなりました。今まで一緒にいた職員がいなくなったことに戸惑いや、むかつき、新しい職員に対しての不満があり、担当の職員に反発していた記憶があります。本当にめんどくさい子どもだったと思います。それでも関わってくれた担当職員には感謝しています。

施設退所してからは、山口県の施設出身向けの大学に進学しました。進学できたのも施設の職員の支援があったからだと思います。入学してからも一人で生活するのが不安で、なにかあればすぐに担当に電話していました。大学にも来てくれ、

保育士の資格を取ることを諦めていた私に頑張れと後押ししてくれたのも職員でした。

職員がいなければ進学もしていないし、大学を卒業できてもないと思います。

施設に入って色々な経験をしなければ、今の私はいないと思います。それだけ私にとって施設の生活は大きかったんです。だからこそ、今施設で働いているんだと思います。

施設で働いていて思っていた以上に大変で、考え、学ばなくてはいけないことが多く大変な毎日です。それでも働けているのは、担当している子に施設で生活していることをいつか良かったと思って欲しいからです。施設にいる間は思えなくても施設を退所してからそう思えば、そんな生活の場を提供できる職員になりたいと思っています。

二葉支援の会幹事会の報告

4月21日(金)に、二葉支援の会(以下、支援の会)の平成29年度の幹事会を行いました。山崎美貴子会長をはじめ、福田敏朗さん、山田美和子さん、東山靖子さん、橋爪主任(二葉乳児院)の5名の幹事と遠藤理事長、武藤常務理事、法人事務局2名が参加し、平成28年度の支援の会を通じての寄付金収入報告等を行いました。

平成28年度は、4,305,887円のご寄付を支援の会を通じて集めることができました。分配先の検討を行いましたが、まずは自立援助ホームトリノス(以下、トリノス)への繰入金に充てることが提案され、承認されました。今号の冒頭でも武藤常務理事の記事にあるように、支援の会の皆様の協力もあり、二葉の既存

施設の建物整備がやっとひと段落しました。これからは、既存の児童福祉制度の外にある子どもたちや、若者たちが置かれている厳しい状況に取り組んでいくことが、幹事会でも共有されました。

二葉には、経営的な課題を覚悟しながら始めたトリノスの事業があります。支援の会としてもそのような趣旨からトリノスを応援していこう、また、二葉奨学金のような、児童養護施設を退所する子どもたちの進学費用への給付金も充実させていかれるように協力していこうという合意がなされました。

そのためにも、二葉全体としても、その活動を支える支援の会としても、今年度もさらに皆様からのご支援をお願いいたします。(法人本部 百瀬圭吾)

各施設の最近の様子

乳児院

二葉乳児院の「りす」と「うさぎ」のお部屋は6月から新体制が始まりました。1歳前後～の子どもが生活していましたが、新体制になり6カ月～の子どもと一緒に生活することになり定員も12人から6人と少人数制になりました。少人数制になったことで子どものことをより丁寧に見ることが出来るようになり、子どもがじっくり挑戦できる機会を作り、子どものいいところをじっくりと育むことがよりできるようになりました。これまでは一日の中で2つのお部屋を行き来することが多々あり、職員も大勢いた中でローテーションでしたが、1つのお部屋で少ない職員と生活することにより、子どもと職員の関係もより深くなり、今まで見られなかった表情や、色んなお話をしてくれるようになっていきます。刺激の少ない環境になったことにより、子どもたちも落ち着いて安心して過ごすことが出来ています。

新体制になったものの、現時点ではお部屋に6か月頃の子どものみは在籍しておらず、月齢の幅が大きい生活は未経験です。月齢差が大きくなることで、年長児の思いやりの気持ちや、年少児が年長児を見てたくさん吸収する姿が見られることを楽しみに思います。新体制のいいところを活かしつつ、異年齢保育にも力を入れ、月齢に合った、ひとりひとりに合った保育を心がけていきたいと思っています。(保育士 大桃彩香)



二葉むさしが丘学園

地域参加型お披露目イベント 「ふたばフェス」

5月27日土曜日、春の日差しがとても暑い日に「ふたばフェス」と題して改築をしたむさしが丘を地域の方々にお披露目したいとの思いからイベントを実施しました。参加団体と個人のほぼすべてが小平の在住在勤者。合唱、ブルースギター、バンド、マジック、絵本の読み聞かせ、ヒーローショー、近隣にこんなに多彩な人たちがいたのかと思うほど、みなさん手弁当で集まっていただき盛り上がった一日でした。(自立支援コーディネーター 竹村雅裕)



二葉南元保育園



野菜を育てよう!!

4歳児クラスで5月に「枝豆」の種まきをしました!

お話を聞いて、豆を見せると「大豆だ!」と答えたり、前かがみになり興味津々な子どもたち。

種まきが終わると芽が出ることをとても楽しみにしていました。

6月になり芽が出ると「大きくなったかな」と毎日観察をしたり、お迎えのお母さんに話したりして成長を楽しんでいます。

園庭前のトマトもどんどん大きくなり、小さな実をたくさんつけています。

クラスごとに当番さんが中心に水やりをしています。

少しずつ色づき始めているトマトの観察を楽しみにしています。 (園長 町田とし江)

二葉くすのき保育園

くすのき保育園にはシンボルであるクスノキがあります。それを囲うように園庭があり、日々、そのまわりで子どもたちが遊んでいます。くすのきの園庭は発達を考え、乳児の庭・幼児の庭に分かれています。どちらも“循環する庭”を目指し、腐葉土置場を設置しています。そして、四季折々の季節が感じられるように“花の咲く木”、“実のなる木”、“紅葉する木”などを植樹してあります。園芸ボランティアのローズマリーさんと一緒に、花壇に花を植えたり、畑に野菜を植え、子どもたち同様にすくすくと成長しています。

保育園時代の年齢の子どもたちにとって、土や花や昆虫など、生き物や野菜たちが身近にあることの大切さを本当に感じています。子どもた

ちはお天気がよければ毎日この緑溢れる園庭を駆け巡ってあそんでいます。ローズマリーさんに様々なことを教わりながら、職員も一丸となって創ってきたこの園庭も11年目になりました。

この先も子どもたちがどんな生き物や植物と出会い、発見をしてくれるか楽しみです。

(保育士 根本宏太)



二葉学園

今年度の二葉学園の夏行事

今年度、二葉学園では「～に挑戦したい!」というテーマで職員から幅広く企画を募集し、集まった企画の中からプレゼンをして決定してきました。その中から五つの企画を実施していく予定です。

その企画について少し紹介させていただきますと、幼児ではキャンプとツリーハウスへの宿泊を中心とした「ツリーハウスプログラム」、小学校低学年では大自然を体験しながら、その中でしか遭遇す



ることの出来ない生き物を採取することを目的とした「生きものハンタープログラム」を実施します。

小学校高学年以上では、極力自然の中にある素材を利用し、最小限の装備でアウトドアに挑戦する「ブッシュクラフトプログラム」と、廃校を使って巨大なピタゴラスイッチのような物を作り上げる「ピタゴラ二葉スイッチプログラム」、そして中学生以上では学園から静岡県清水区にある三保内浜海水浴場までを自転車で走りきる「自転車プログラム」を実施します。小学校高学年以上については、対象年齢の幅でどのプログラムに参加するか各自が選べるようにしています。

子どもたちの貴重な夏休みを、思い出だけでなく達成感やより多くの充実感で満たせるよう、子どもたちと共に取り組んで行きたいと思っています。

(養護主任 赤瀬正樹)

自立援助ホーム トリノス

開設して1年、おかげさまでトリノスは定員いっぱい6名が入居しており、にぎやかに毎日過ごしております。入居者たちは、アルバイトを探していたり、正規採用が決まったり、大学への進学を目指したり、高校への復学を考えていたり、それぞれの課題や目標と悪戦苦闘しながらも、少しずつたくましくなっています。

2年目の今年も、職員も入居者も共に手を取り合いながら、社会で生きていくこと、働くことの意義について悩み考え行動していきたいと思っております。

写真は6月に開催した浅川の川岸でのBBQの様子です。お肉や野菜、飲み物を色々な方からご寄付いただき、みんなでごちそうになりました。昨年実施した際にはまだ入居者が1名しかおらず、あっという間に終わってしまったんですが、今年

はみんなでワイワイがやがやと楽しむことができました。ご支援いただいた方々、ありがとうございました。

今度実施する際は、地域の方をはじめとしたご支援をいただいている方たちもお招きして、一緒に楽しめるような交流会を開催したいと思っております。

(ホーム長 渡辺剛史)



二葉チャリティ 2016 のご報告

今回で3回目となる二葉チャリティコンサートを、昨年11月26日に「ルネこだいら」にて、フラメンコギタリストの沖仁さんをお迎えして盛大に開催しました。この企画は、小平という地に根を張ってまだ間もない「二葉むさしが丘学園」を、地域の方々に知ってもらうことが第一の目的でした。また、昨年春に開設したばかりの自立援助ホーム「トリノス」の運営費に、少しでも寄与することがもう1つの目的でした。

コンサート当日、沖仁さんのギター演奏が始まると、お客様のなかで初めてフラメンコギター演奏を聴く人たちも、その音色の美しさに衝撃を受けている様子でした。フラメンコの聖地・スペインのアンダルシア地方の情景を思い起こさせるような情熱的なメロディ、オリジナル曲、誰もが知っているクラシックのアレンジまで、幅広く披露してくださいました。お客様がとても楽しんでくださっている様子、そして一体感が私たちにもよく伝わってきて、すばらしかったです。



今回の活動を通じて、2つの施設に寄付できた金額は、167,822円でした。今後さらに、二葉としての広報や情報発信を地域に向けて行いながら、どんな人たちに私たちの活動を知らせていきたいのか、ということも並行して考えつつ、より良い福祉実践をめざしてまいります。あらためて、今回の企画にご協力いただいた多くの皆様へ心から感謝申し上げます。

(法人本部 百瀬圭吾)



社会福祉法人 二葉保育園 概要

法人本部

所在地：〒160-0012 東京都新宿区南元町4番地
TEL：03-3341-1205
FAX：03-5368-1969
設立：1900年(明治33年)
理事長：遠藤 久江
常務理事：武藤 素明
理事：河津 英彦、押切 重洋、福田 敏朗、都留 和光
監事：園 武友、乾川 日出夫
職員：3名

二葉乳児院・地域子育て支援センター二葉

院長 都留 和光
児童定員：40名 職員：74名
住所：〒160-0012 東京都新宿区南元町4番地
TEL：03-3359-4578
FAX：03-3359-4596

二葉学園

統括園長：武藤 素明 園長：小倉 要
児童定員：52名(グループホーム6ヶ所を含む)
職員：62名
住所 本園：〒182-0035
東京都調布市上石原2-17-7
TEL：042-482-2578/FAX：042-480-5200

二葉南元保育園

園長：町田 とし江
児童定員：110名 職員：52名
住所 本園：〒160-0012 東京都新宿区南元町4番地
TEL：03-3351-3819/FAX：03-3357-3707

二葉くすのき保育園

園長：森本 裕美
児童定員：100名 職員：38名
住所：〒182-0022
東京都調布市国領町3-8-15 都営くすのきアパート1号
TEL：042-487-8309/FAX：042-487-8326

二葉むさしが丘学園

統括園長：武藤 素明 園長：黒田 邦夫
児童定員 本園：60名(一時保護6名を含む)、
グループホーム：18名、職員：57名
住所 本園：〒187-0011 東京都小平市鈴木町1-62-1
TEL：042-344-9911/FAX：042-345-7836

自立援助ホーム トリノス

統括園長：武藤 素明 ホーム長：渡辺 剛史
児童定員(男子)：6名 職員：3名
住所：〒191-0021 東京都日野市石田1-28-10
TEL：042-586-0005/FAX：042-586-0041

平成28年度 二葉改築プロジェクト支援募金にご寄付をお寄せ下さった皆様

平成24年度から平成28年度までの5年間、二葉学園、二葉南元保育園、二葉むさしが丘学園を改築して、すべての施設が子どもたちの暮らしやすい建物に生まれ変わることができました。子どもたちの笑顔に接する度に、大変だったけれども改築して本当に良かったと実感します。改築に関わってくださったすべての方々感謝いたします。また、平成28年度は4,305,887円のご寄付を頂きました。その内、二葉奨学金として160万円のご寄付をいただきました。書き損じハガキや未使用切手を集める「もったいない寄付」にもたくさんのご寄付を頂きました。この場をお借りしてお礼申し上げます。ありがとうございました。

ご寄付をお寄せ下さった皆様（敬称略）

愛知 芙美子	金城 清志	野澤 理子	NPO法人 協働学舎 宮嶋 信
青山 知広	久下 幸廣	橋口 英二郎	NPO法人小平こども劇場
東島 光子	久邇 正子	橋本 康彦	NPO法人市民活動ネットワーク
阿部 久美子	小平第二小学校	羽仁 カンタ・昌子	学校法人 女子学院 理事長 寺嶋 潔
新井 美津子	校長 細萱 希彦	羽根田 弥生	社会福祉法人 朝陽学園 千葉 孝正
伊豆 道子	後藤 美保	林 聡	社会福祉法人 錦華学院 土田 秀行
磯部 日出夫	小又 光江	林 千尋	社会福祉法人 至誠学舎
伊藤 陽子	小山 和子	林 伸子	立川 至誠学園 施設長 石田 芳朗
乾川 日出夫	坂倉 綾子	桧山 孝子	立川 至誠大空の家
井上 従子	坂本 和子	廣瀬 久也	立川 至誠大地の家 園長 高橋 誠一郎
植山 洋子	佐々木 静子	福田 敏朗	社会福祉法人 共生会 希望の家
遠藤 勝司	清水 真一	藤澤 晴子	社会福祉法人
遠藤 久江	須川 暢子	藤林 はる子	クリスト・ロア会 聖ヨゼフホーム
大島 尚子	鈴木 博人	藤原 誠	社会福祉法人 天使園 今井城学園
太田 清子	鈴木 美邦	ホドツカ シゲオ	社会福祉法人 福音寮
大竹 智	陶山 義雄	牧野 靖子	社会福祉法人 扶助者聖母会
大野 恵子	瀬尾 義弘	松本 園子	日本赤十字社東京都支部 赤十字子供の家
大橋 重正	関 幸子	真鍋 美一	社会福祉法人 六踏園
岡崎 瑠美子	関沼 幸通	水谷 宏一	調布学園 統括園長 渡邊 茂雄
奥野 弘史	園 武友	三井田 絢子	調布学園 園長 遠田 滋
小倉 嗣子	泰 雅子	宮沢 成美	第二調布学園 園長 石井 義久
尾崎 百合子	高木 みさ子	護山 千津子	社会福祉法人 筑波会 筑波愛児園 小林 浩典
押切 重洋	高橋 和代	宮本 禎文	社会福祉法人 のぞみの家 施設長 山崎 泰子
鬼木 麗子	田中 佳子	冥賀 令	社会福祉法人 蓮花苑
小根山 美代子	谷中 信一	宗像 雅子	児童養護施設 れんげ学園 相澤 靖
折茂 伸満	丹井 逸子	元橋 三千代	東京都社会福祉協議会 児童部会 会長 佐々木 晶堂
海上 玲子	丹沢 美智子	盛 和子	東京都社会福祉協議会
笠原 勝子	富田 譲	門馬 友直	東京都社会福祉事業団 理事長 白石 弥生子
鍛冶 成美	中村 恵子	八幡 則子	東京都養育家庭の会
片倉 昭子	中村 範子	山崎 美貴子	日本基督教団 東中野教会 教会員有志
片山 雅子	中山 正雄	山田 あきこ	松井建設株式会社
加藤 公子	西田 和子	山田 美恵子	明治安田生命保険相互会社 武蔵野支社
川久保 美和子	西村 道子	山本 広子	匿名 1名
菊田 桂子	西本 知代	吉澤 貞雄	もったいない寄付
清野 陽子			